

指定管理者の期末モニタリング

| | | | |
|-------|---|-----|--------|
| 施設名 | 宮代町総合運動公園 | 年度 | 平成30年度 |
| 指定管理者 | ミズノグループ | 担当課 | 教育推進課 |
| 指定期間 | 平成30年4月1日～令和5年3月31日 | 期別 | 第3期 |
| 施設の目的 | 町民の健康増進と、スポーツ・レクリエーション活動の普及促進を図るために設置する。 | | |
| 業務の内容 | (1)施設の維持管理に関すること。 (2)利用の承認及び利用の取り消しに関すること。 (3)利用料金の納入及び利用料金の免除、利用料金の返還に関すること。 (4)自主事業をはじめ当該公園施設を有効に活用するために必要なこと。 | | |

| | |
|---|---|
| 総合的な評価 | |
| 【総合評価】 | A優良 1 B適正 13 C改善 0 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・施設の特性を活かした事業を展開し、利用者が毎年増加している。 ・利用者を増やすため、積極的に大会や体験会を開いている。 ・利用者のニーズに耳を傾け、真摯に対応している。 ・祝日翌日や7・8月の月曜日の開館等、積極的に利用日の拡大を進めた。 | |
| 【評価事項】 | <ul style="list-style-type: none"> ・単なる施設の貸出しだけではなく、自主事業の積極的な展開により、新たな利用者を獲得している点は高く評価できる。また、第3期の提案にあった体育館の照明のLED化を早期に実施した他、高齢者向け事業についても高齢者支援担当と連携し参加者を募集し、60才から始める健康プログラム事業や60才以上の体力測定事業に着手するなど非常に評価が出来る。 |
| 【改善事項】 | <ul style="list-style-type: none"> ・前年度よりは利用収入や利用人数は大きく伸びているが、平成30年度の目標とする利用料金収入、目標利用人数には僅かながら到達しなかった。 ・第3期の提案事項である身障者への事業はまだ着手していないようであるが、高齢者の健康プログラム事業については、順調に進んでいるようであり、今後の町民の健康増進においても重要と考えられるため大いに期待しているところである。 |

| | | |
|---|----|------|
| 1. 施設の管理運営・事業 | 評価 | B 適正 |
| <p>平成30年度の目標利用料金収入は、僅かに目標額に及ばなかったが、前年度よりは877,650円増えている。また、目標利用人数についても、僅かに目標人数に及ばなかったが、前年度より10,115人増えている。この他、祝日の翌日の開館や7・8月の月曜日の開館など利用者目線に立った管理運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標とする利用料金収入 29,380,000円 ・利用料金収入の実績 28,922,880円(前年度 28,045,230円) ・利用人数 <ul style="list-style-type: none"> H30年度目標 232,500人 H30年度実績 228,070人(前年比 10,115人増) H29年度実績 217,955人 | | |
| 2. 利用者の公平確保 | 評価 | B 適正 |
| 適正に施設の貸し出しを行い、公平性を確保していた。 | | |
| 3. 職員の配置、研修等 | 評価 | B 適正 |
| トレーニング室やプール監視員については、有資格者を配置するなど適正な人材を配置し、仕様書及び事業計画書に基づき、適正に人員を配置していた。 | | |
| 4. 施設の維持管理業務(清掃、植栽管理など)及び保守点検 | 評価 | B 適正 |
| 清掃、設備の保守点検など施設の維持管理業務は仕様書及び事業計画書に基づき、適正に実施されていた。また、緊急対応を要する事態に対して、すみやかに対応をする等、利用者への影響を極力減らすための措置をとっていた。 | | |

| | | |
|--|----|------|
| 5. 施設の修繕 | 評価 | B 適正 |
| 緊急度や規模により優先順位を判断した上で、順位の高いものから修繕を実施しており、町への報告も適正に行われていた。 | | |
| 6. 備品管理 | 評価 | B 適正 |
| 台帳を整備し、適正に管理を行っていた。 | | |
| 7. 安全・危機管理 | 評価 | B 適正 |
| 危機管理マニュアルを作成し、有事に備えると共に、管理責任者及び防火責任者を配置することで安全・危機管理に努めていた。 | | |
| 8. 個人情報の管理 | 評価 | B 適正 |
| 申請書をはじめとする個人情報に関する資料は施錠できる倉庫に保管するなど適正に管理をしていた。 | | |
| 9. 利用者ニーズの把握・反映 | 評価 | B 適正 |
| お客様の声ボックスを設置し、利用者からの意見や要望を聞き、その回答を掲示することで、利用者への周知を行うとともに、施設管理、運営に取り入れるよう努めていた。 | | |
| 10. 自主事業の実施 | 評価 | B 適正 |
| スポーツ教室や健康教室などを幅広い世代に対する事業を展開し、施設を効果的に活用していた。参加者についても、引き続き増加傾向にあり、好評を博している。高齢者向けの事業は、高齢者の生きがいづくり、介護予防の観点から高齢者が運動する機会の提供ということで、60才から始める健康プログラムや60才以上の体力測定を実施した。今後、更に、この事業を大きく展開し、町民の体力向上・介護予防に繋がる事業を進めてもらいたい。 | | |
| 11. 経費節減 | 評価 | A 優良 |
| 第2期において実施した事務所照明のLED化に引き続き、第3期の提案である体育館のメインアリーナ・サブアリーナ・トレーニング室・室内プールのLED化を早期に実施し、電気料の削減に非常によく努めていた。また、重油単価の高騰などにより水光熱費が大幅増する中、夏場の夜間にプールの屋根を開放し室温を下げることや、冬は保温のため夜間はプールにブルーシートをかけること、施設全体に節水コマを取り付けることなど、引き続き、水光熱費の削減に努めていた。 | | |
| 12. 環境への配慮 | 評価 | B 適正 |
| 芝や枝を敷地内で処分するなど廃棄物の削減に努めていた。 | | |
| 13. 利用者への情報提供 | 評価 | B 適正 |
| ホームページや町広報誌だけではなく、ミズノスポーツフェスタでは町内小中学校への配布など、情報発信を行っていた。 | | |
| 14. 会計管理 | 評価 | B 適正 |
| 電算処理を行い、適切に会計処理を行っていた。 | | |